

近 税 な に わ

発行所 近畿税理士会浪速支部

〒556 大阪市浪速区元町1-13-7

発行人 支部長 春 田 佳 男

TEL (06) 649-5255



上高地にて 太田武男先生 提供

目 次

逆さ富士を想う……………	春田 佳男(2)
平成5年度新任役員ごあいさつ……………	(2)
着任のごあいさつ……………	辻井 一郎(4)
転入幹部のご紹介……………	(4)
支部長在任4期を省みて……………	太田 武男(5)
税務署だより……………	(5)
随 筆……………	春田 佳男(6)
	檜垣 典仁(7)
	白川 克巳(8)

委員会だより……………	(9)
新入会員ご紹介……………	内海 清次(13)
	村山 吉弘(13)
	荒木志磨雄(13)
	中谷 悦造(13)
	長友 滋尊(14)
支部行事予定……………	(14)
編集後記……………	(14)



逆さ富士を想う

支 部 長 春 田 佳 男

東西冷戦の終焉は、激しい変革の時代へと進み、我が国議会政治にも大きな影響を与えんとしております。この業界も又、如何なる形でこれが直接・間接の波及を受けるのか、極めて関心の高いところであります。

かかる機にあたり、太田武男先生のあとを受け、歴史と伝統を誇る当近畿税理士会浪速支部の支部長を勤めることとなりました。

就任早や 2 カ月、顧みてその浅学非才。お受けをいたしましたものの、責務の重大さに今更ながら身のすくむ思いをいたしております。

地表のお山は、頂きに座して白き狩衣の諸候を従え、裾野を広く、どっしりと重厚に、これぞ組織を謳歌してみえますが……

かたやこれを映して、数多の源から輝かしきキャリアの先生方が、波光燦らめいていらっしゃる。瞳をこらせば、その下に両手を広げてこれを支える役員先生の姿があり、その中程に作業衣をまとった執行部が位置している。気象一つでこれがゆらぎ消える。これも又人間社会の一

つの集団であり、そこにも組織というものがあるということなのでしょうが？

初めて支部の仕事させていただいた頃、かけだしの身に当時の太田支部長が先ず『すみません。すみません。』を繰り返されてから話しにはいられることに、奇異を感じたことを覚えております。先生の「滅私奉公」の精神はそれから 8 年、今も全く変わるところはありません。

号令を発して組織を動かすことが即ち職業の人と、生業を他にしてひたすら「お願い」をもって組織に動いてもらう者との立場の違いを、充分に弁えた上で、前支部長の立派な業績の真似事の半分にも至らぬことは存じますが、能うるかぎりの努力を、会務運営に傾注する所存であります。

会員諸先生方のご健勝とご発展を祈りつつ、前支部長同様のご支援。ご協力とともに、格別のご指導・ご鞭撻のほど伏してお願い申し上げます。まして就任の挨拶とさせていただきます。

平成 5 年度新任役員ごあいさつ



副支部長（会計・広報担当）

梶 田 惇

本年度、支部定期総会の役員改選に、図らずも、副支部長に推薦され、会計及び広報を担当致す事になりました。

従来は、支部幹事として、厚生・研修委員として支部活動にタッチしていましたが今回、新しい分野ということで、未経験でありますので、前任者のアドバイスを受けながら、また諸先生方のご協力を得て、何とか職務を全うしたいと思っております。

会計は支部運営における財政的な要でありま

すので、会員先生方には、何卒御理解いただき御協力をお願い致します。また、広報は前支部長太田先生・前担当副支部長春田先生や委員先生方のお力で平成 3 年 1 月より支部報「近税なにわ」創刊することが出来、現在年 2 回の発行となっております。諸会員先生方の会報でございますので今後、支部の報告・記録という役割だけでなく、楽しい交流の支部報に致したいと考えておりますので、どしどし、ご投稿をお願い致しますと共に、ご意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

いろいろとお願いばかりしましたが、何分にも若輩でありますので、精一杯がんばります。

諸先生方の御協力を重ねてお願い致し、就任の御挨拶といたします。



幹 事

岩 橋 一 好

この度の浪速支部の役員改選に伴いまして、幹事（総務担当）を仰せ付けられました岩橋でございます。

何分にも若輩者にて却って皆様に御迷惑をおかけするのではと恐縮致しましたが、その若さ

をもって頑張るって欲しいとの御指名を受けまして、その責任の重さを痛感しつつ、微力ながらも若さとフットワークをもって、職務に当たらせて頂こうと存じております。

初めての経験でございまして何かと不慣れ、不行き届きの点多々あらうかと存じますが、諸先生方の御指導を仰ぎつつ努力して参る所存でございます。

何卒宜しく御協力御鞭撻の程、お願い申し上げます。



幹 事

大 野 裕 康

この度の役員改選により、総務担当の幹事を仰せ付けられました。

もとより浅学の身、その責任の大きさを痛感いたしております。長年にわたりいろいろとお骨折りいただきました前任の役員先生方並びに諸先輩方のご指導、ご協力を賜りながら、若輩なりにフットワーク軽やかに頑張る所存でございますので何卒よろしくお引き立ての程お願い申し上げます。



幹 事

山 崎 通 也

この度の役員改選により、厚生・事業・研修担当幹事を仰せ付けられました。経験も乏しく責任の重さに不安を感じておりますが、会員諸先

生方に色々とお迷惑をおかけすることのないよう一生懸命頑張りますので、よろしくご指導下さいますようお願いいたします。

また、浪速支部のために、ゴルフ、囲碁、ボウリング、研修等、種々計画されておりますので、諸行事には、より多くの先生方のご参加をお待ちしております。

今後とも、一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。



監 事

早 崎 哲 雄

今度の支部総会において監事に選任されました。今後微力ながら支部のお力になれる様努めたいと存じます。

思えば、税理士登録しましたのが昭和40年2月ですからもう28年にもなります。富田林支部に2年、南支部に11年、そして浪速支部の現在の元町の事務所で15年にもなります。この間一体何をしていたのでしょうか、年数を改めて計

算してみても啞然となります。

以前は藤井寺市、羽曳野市商工会、南河内料飲宿組合等と密着しての指導も多かったのですが、ここ数年は確申期の申告指導を浪速、富田林支部で数日行う位で支部の為に動く事もなく過ごして参りました。

今後は支部役員の先輩達の御指導を得まして責務を果たしたいと存じます。

私の趣味はゴルフとテニス、ゴルフは数年前より浪一会の皆様にお世話になり、コンペには比較的真面目に出席して励んでおります。テニス歴は約50年、年はとっても腕の方はノンプロ級（年相応の）と自負しています。今でも週2日はラケットを振っています。

今後共諸先生方の一層のご交誼の程お願い致します。



平成 5 年度・署幹部新任ごあいさつ

着任のごあいさつ

浪速税務署長 辻 井 一 郎

署中お見舞い申し上げます。

私は、7月10日付の人事異動により浪速税務署長を命ぜられ、このほど着任いたしました。園山前署長と同様、よろしくお願い申し上げます。

近畿税理士会浪速支部の会員の皆様には、平素から私共の税務運営につきまして、一方ならぬご理解とご協力をいただき感謝いたしております。

さて、貴支部におかれましては、去る5月の支部総会で役員の改選が行われ、支部長はじめ役員的大幅な変更が図られたと承っております。世は正に改革の時代を迎え、東西ドイツの統一に始まった社会主義の崩壊、現役大統領が若き俊英に破れ世代交代が実現したアメリカ合衆国、国内においては、一連の政治改革論議など私共の組織を含め、改革の真っ只中にあるといわざるを得ません。

国税の職場は、ここ数年来、消費税や地価税の導入を始めとする税制改革、これを踏まえた機構改革等大きな改革を経験してまいりました。

これらの新しい税制や執行体制への移行が、混乱もなくスムーズに行われてまいりましたのも、ひとえに税理士先生方のご助力のたまものであると大変心強く感じております。

本年上期において、景気回復策が論議され大型補正予算が決定された過程では、大型減税、更に消費税率の引き上げが論議され、これを機に税の公平確保に対する要請は税制のみならず税の執行面においても国民の関心は一段と高まっております。これらの要望に添えていくためには、私共税務署のみの力では達成することは極めて困難といわざるを得ません。

したがって、税の専門家として、税の公平確保を同じ目的とされる税理士先生方のお力が必要不可欠であります。どうかこれからも一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝とご事業のますますのご発展をお祈りいたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

— 転入幹部のご紹介 —



はやし さだよし
林 貞好

副 署 長

前任署・官職
税務大学校
大阪研修所
主任教育官



ただ やすのり
多田康紀

管理徴収統括官

前任署・官職
宮津税務署
官・徴
統括官



やまもと と き お
山本外喜夫

個人 3 統括官

前任署・官職
東大阪税務署
個人 3
統括官



みなみ と し き
南 俊樹

法人 1 統括官

前任署・官職
国税局・課二部
法人税課
指導官



まつもと よ し あ き
松本吉彰

法人 4 統括官

前任署・官職
国税局・課一部
料調一課
主査



支部長在任4期を省みて

太田 武男

本年5月18日開催の第13回支部定期総会におきまして、春田新支部長以下、活力に満ちた新役員が誕生し、新執行部による支部運営がスタートいたしまして、大変喜ばしく存じます。省みますれば、昭和60年5月22日、第5回定期総会におきまして、当時の支部長辻本宏夫先生の任期満了に伴い、浅学非才を省みず、支部長の大役をお受けし、任の重さを痛感し、及ばず乍ら、ひたすら努めることができ4期を終えさせていただきました。

ご周知のとおり、税理士会は強制加入の法定団体であり、その下部組織である支部も、税理士会の目的達成に資するため、その指導監督により、組織として運営されなければなりません。又、就任当時から支部運営についても活性化を図るよう求められて、現在に至っております。

過ぎ去った8年間は、誠に微力でしたが会員各位と役員先生方のご協力により、支部長の任を終えさせていただきましたが、同時に数多くの貴重な体験をさせていただき、数々のことを

勉強させていただきました。支部長就任の初年度は、当時兼任となっておりました近畿税理士政治連盟浪速支部長として、近税政大阪第1支部連合会会長を受ける年に当たっており、税政連活動と支部運営が重なり、又平成3年役員改選期におきましては、近畿税理士会大阪府第3支部連絡協議会議長を仰せつかる等、スケジュールと体力の調整に悩むことも屡々でありました。

この度新役員が就任され、私が無事今日を迎えることができましたのは、永年にわたり支部長を支えていただきました役員各位はもとより、先輩役員先生方をはじめとするすべての会員先生方の支部運営に対する深いご理解の賜でありまして、深甚なる謝意を表しますと共に、格別のご支援とご協力をいただきましたことを改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも会員先生方の一層のご支援・ご協力と、新役員のご尽力とが相俟って、浪速支部がよりよい支部に発展するよう、願って止みません。

税務署だより

個人課税第3部門が新設！

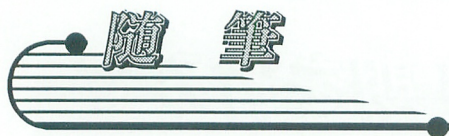
平成5年7月10日から、浪速税務署に個人課税第3部門が誕生しました。

なお、浪速税務署の陣容は右表のとおりとなり、この先一年間71名で仕事を進めていくことになります。

ちなみに、個人課税各部門の主な事務は、

- ①第1部門 所得税・消費税
内部事務
- ②第2部門 所得税・消費税
外部事務
- ③第3部門 資産税事務及び
所得税・消費税
外部事務

署 長		1
副 署 長		1
総 務 課		9
管理徴収部門		8
個人課税部門	第1部門	6
	第2部門	7
	第3部門	7
特別国税調査官（法人税担当）		2
法人課税部門	第1部門	11
	第2部門	7
	第3部門	6
	第4部門	6
合 計		71



或る寄付講義からの演繹

春 田 佳 男

先日、日航と全日空の修理部門が提携するという記事を読んだ。空港ビルから見る旅客機の機体のデザイン・カラーの数は実に豊富だが、形に関してはその種類そんなに多い訳ではないことに気付く。

つまりジャンボクラス的大型テクノ産業にかかるものの生産は（ユーザー側のマイナーなオーダーはあくとして）限られた場面で行われ、これを各国・各航空会社が購入して運行面で激しい競争を繰り広げている。グローバルな経済性からいって修理部門の提携などは、特に不況が長く続くともなれば考えるのはむしろ当然であろう。

ところで同じ視野から、運行面でもっとも効率的な運営を目指すとするれば、必ず往と復があるという旅客の性格（移住は別として）をふまえて、国境を越えた出発地と到着地の全ての需要と全域の航空網における用役の供給にかかる情報が集中される必要がある。更にこれに性格の異なる貨物輸送の面からの要求が複雑に絡んでくるだろう。

航空業界の成長と発展は国境や企業の垣根を取り払ったところで与えられるとすれば、この情報のネットワークのために国際的なセンターが必要となるだろう。又将来への方針設定が、続く命題であるなら、どこでそれを果たすこととなるのだろうか。

かつてのアダム・スミスの市場論では『利潤は社会に対する貢献への賞与である』といわれた。物理的性能に秀れコスト面で勝り形状・色彩など感性に優る個体の提供を果たしておれば、自然淘汰の市場原理が作用するとされ、応能性の税負担も自然に受け入れられてきた。

しかるにこれがネットワークに関する場合、つまりネットワーク量の大小、質の優劣が関係する場合には、画質・音質といったものよりも、その取り込める情報チャンネル数の方を、ユーザーは選好する。しかも、ユーザーの不安感情からくる閉鎖性が働いている。つまり、遥かに既成のものを凌駕する物理的性能を備えながらも開発を将来に俟つようなものよりは、現在或る水準に既に達していて、一般に認められている伝送路をもつものが勝利するのである。

このことは、画質・容量に優れた性能をもつはずのベータ方式のビデオデッキに対して圧倒的な市場シェアをもって勝利したVHS方式ビデオのケースと似たものがある。

また、特に情報通信の分野では通信がもつ双方向性のために、加入者の数、つまり通信網自体の拡大によって、もたらされる利用価値が増大するといういわゆる外部効果が期待されるので、この傾向は顕著である。

更に基盤のシステムに変革があったときは後発組の如何なる努力も、（かつて4極ステレオがCDに敗れたように）一時の日の目を見ることもなく吹き飛ばされてしまう。一つの国、一つの企業の努力を超えるほどの要因がもはや見逃せないほどのものになっているならば、その効率性指向のためには開発の段階においてグローバルな見識からスタートしなければなるまい。

政治・経済の社会における国際化が言われて久しいが、東西対立の解消となると、民族文化を機械文明が押し上げる度合いとスピードが激しく、かつての統制経済・計画経済とは異なる次元ではあっても、その経験をも踏まえたエコノミックコントロールが要求され、そのためのシステムが国際的な流通・金融面や貿易調整面での機関の整備とともに生まれてくるだろう。

余談ではあるが、このような見地からすれば、最近紙面をにぎわしている「経済摩擦」や「管理貿易に対する批判」などといった論争は、国際的側面から目を背け、根底にある民族的色彩を前面に出しすぎているという指弾を受けるべきものではなからうか。

さて、この局面での各国間における費用・収益の配分・帰属はどうなるのか。進んで税というものの認識をどう考えるのか。国家・民族と共同・連合体の間の整合をどうするのか。

湾岸戦争のとき、その費用負担については先進諸国への割り当てもしくはそれぞれの経済能力への寄付的依存によった経緯がある。これを発展させて、国内の利潤配分以前に、国際的な機関によってその利潤の一部が留保されるようになればどうであろうか。また国内的には秩序維持・発展の費用としての租税よりも、この留保から配分されるもののほうが重要な意味をもつようになるならば、どうだろう。そうなれば、もはや租税の持つ応能・応益理論が国内外の国境を越えた見地からの新たな構築をせまられることになるだろう。

趣味 — 園芸との係わり — 檜垣典仁

私と園芸との係わりは思い出せば中学校2年の時からです。私の出身地は愛媛県今治市です。今治と言えば皆様タオルの名産地と思われるでしょうが、私の育った所は市内や工場地より少し離れた、いわば田舎です。その関係からか、中学校のクラブ活動も、園芸部というクラブが、存在していました。それまで、私は「花」についてそれほど興味もなかったのですが、私の当時の親友が「花」が好きで、彼に園芸クラブと一緒に入部しようと勧められ、嫌々仕方なく入部したものでした。その時のクラブの顧問の先生（男）が（現在もお付き合いさせて頂いていますが）菊が好きだったこともあったのか、先輩部員達と校舎の裏の花壇に一杯の懸崖菊を育てていました。尤も、菊以外にも沢山の花があっ

たのですが、特に印象が深かったのが、懸崖菊でした。

菊を育てるには、先ず、土を作ることから始まります。続いて肥料作り等々とスケジュールを立てて、育てて行きます。いちばん気を使うのが、水枯れ、害虫、そして仕上げは、着花前の芽の摘み込みです。これを上手にやらなければ一度にしかも、鉢全体から一度に開花してきません。このようなことを、部活で教わって、翌年、中学3年の時には自宅で、20鉢余りの懸崖菊作りに専念し、その年の秋には、みごとに開花しクラブの顧問の先生や近所の方々に貰って頂いて、喜ばれたことを憶えています。

高校に入学してからは、自宅で懸崖菊以外にもカーネーション・パンジー等々と四季の草花を通学時に種苗店に立ち寄っては買って帰り、種を蒔き、または球根を植え、発芽を毎日楽しみにし、学校より帰っては30分ぐらい草花との対面の時間を過ごしたものでした。その頃より「植物」（花）が好きになり、どんなにイライラしていても「植物」を見ていると、心が落ち着くようになり、非常に可愛いものだと言うことに気付き、こちらに愛情がなければ、草花も、それに直ちに反応します。人は騙せても植物（草花）は騙せません。本当に植物（草花）は正直です。その一日のサボりがいい花を着けてくれないのです。

そういうことが解り、益々、植物（草花）が好きになり、高校時代は田舎で、生活をしていたこともあり、自宅の花壇には、いつも一杯の花を咲かせていました。今、省みれば、当時は純真無垢な少年だったのかもしれませんが。このように私の頭の中は、いつも植物（草花）の事で一杯でした。

その後、大学に入学してからは、安アパート

税理士と関与先企業のための

疾病重点型・L

総合事業保障プランⅡタイプ

- 日本人の平均寿命をこえる85歳までの長期保障、しかも保険料は期間中一定
- 重責にふさわしい最高3.1億円の大型保障・退職金・功労金などの財源として利用
- 病気やケガでの入院・手術の治療にも安心
- 国際化時代に伴い、海外での
- 年払もOK
- 事故・病気も保障
- 詳しいお問い合わせは **DAIDO 大同生命** 大阪中央支社/大阪市中央区谷町1-5-4(天満大同生命館) TEL 06-942-0391



に住み、田舎とは違った都会の色々な刺激に触れ、また、「花」を育てる場所もなかったこともあって、いつの間にか、花の事を忘れ大学のグリークラブ（男声合唱部）に席を置き、全学連による学園封鎖の間も、クラブには毎日出席し、大学生活 4 年間はアエイオーと発声練習に明け暮れた日々でした。しかし、結婚後小さいながらも、少し庭の付いた家を持つことが出来、そこで又、再び園芸の方に楽しさを見出し、今では昔のような種類の植物（草花）ではなく、シンビジュームの栽培にチャレンジしています。しかし、これが大変難しく、十分な設備もないことや日々の生活に追われ、1 週間に 1 回ぐらいしか、シンビジュームに对面できない事などから、十分な愛情を掛けてやれない事などにより、納得いくすばらしい花を咲かせてくれません。今年も忙しいからだめかな……と想いながら、愛着を感じさせてくれるシンビジュームを見て、きっと、いつか、満足する花を咲かすぞと思い、休みの日の朝は 25 鉢の 1 鉢 1 鉢のシンビジュームと会話しながら一時を過ごしています。

今後この『園芸』を気分転換の一つの手段（趣味）として一生係わっていきたいと思っています。

国語の乱れ

白 川 勝 巳

このところ言葉使いの乱れがよく話題になる。その一つに「ら抜き言葉」がある。「見られる」「出られる」「食べられない」「起きられない」

を「見れる」「出れる」「食べれない」「起きれない」というように使うことである。

そういえば、先日ある新聞に、総理府が実施した「国語に関する世論調査」の結果が載っていた。詳しい数字は忘れたが、国語の乱れを心配している人が 7 割以上であった。

この「ら抜き言葉」は若い層に特に多いが、文法上は誤った用法である。

けれども、そういう言葉使いが現実が増えてくると、文法上はどうであれ、誤用もまた、ひとつの慣用になって、それを気にする人（自分も含めて）は次第に少なくなる。

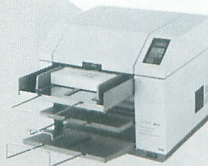
よく言葉は生き物だといわれる。誤用も慣用化されれば誤用でなくなる。

たとえば、「消耗」「情緒」「堪能」「口腔」を本来の読み方で「しょうこう」「じょうしょ」「かんのう」「こうこう」と読んだらかえって間違っているようにとられる。また「的を得る」という表現がよく使われるが、これは「的を射る」と「当を得る」が混ざった用法である。読み方では、「他人言（ひとりごと）」を文字通り「たにんごと」と読むのが普通になっている。「初孫（ういまご）」「菌に衣（きぬ）着せぬ」は「はつまご」「菌にころも着せぬ」となる。「独壇場（どくせんじょう）」「病膏肓（やまいこうこう）」は「独壇場（どくだんじょう）」「病膏肓（やまいこうもう）」と読み方だけでなく字まで変わっている。これを昔のまま書いたり読んだりすると、誤っているとはとられなくても、教養をひけらかしているようにとられかねない。

文法にない、誤りだ、などと目くじらを立ててみても、やがてはそれが普通になってしまう。言葉文化とはそういうものかもしれない。「ら抜き言葉」がよい例である。

OCRコンピュータ会計の決定版！

豊富なOCR導入事例により、ケースバイケースにおけるOCRコンピュータ会計の具体的な運用ノウハウを提案いたします。



手書き会計伝票
自動読取り装置
Auto Reader-4
オートリーダー-4

人手不足…イッキに解消！

- 入力作業を完全に自動化。
事務量増大、繁忙期に抜群の威力を発揮します。
- 各自の伝票作成がそのまま入力機複数台の同時入力と同じ効果です。
- 入力作業の改善により、深刻な人手不足を補い職員の定着性が向上。所内人事管理にゆとりが生まれます。

納入実績
No.1
OCR(オートリーダー)
採用事務所
5,000軒突破！



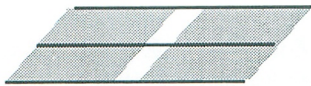
IGS

日本アイシーエス株式会社

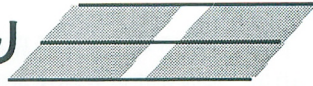
■大阪本社／〒543 大阪市天王寺区上本町6-3-31 うえほんまちハイパタウン11F ☎06(773)3881(代表)

■ICS上本町ショールーム／☎06(773)3881 ■ICS梅田ショールーム／☎06(346)0838 ■大阪本社スクール課／☎06(773)0388

資料請求
近税なになわ

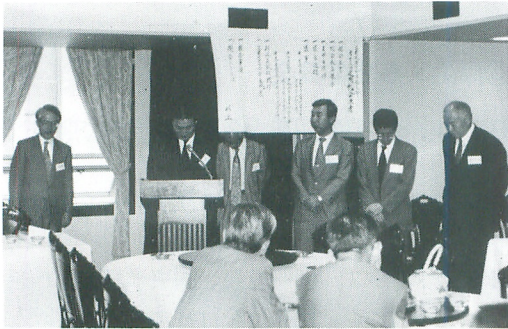


委員会だより



支部行事報告（平成5年1月～平成5年7月）

◎総務委員会



○第13回定期総会（H5.5.18）

会 員 総 数 117名

出席会員数 87名（含委任状 43名）

場 所 東天閣

議 長 辻本昭一先生

議事録署名人 田野哲治先生・栄村健造先生

第 1 号 議 案 平成4年度事業報告並びに決算書承認の件

執行部報告・監査報告ののち全員承認

第 2 号 議 案 平成5年度事業計画案・収支予算案承認の件

執行部報告ののち全員承認

第 3 号 議 案 支部役員選任の件

選考委員会の慎重審議の結果 新役員は次のとおり選任された。

平成5年度役員名簿

支 部 長 春田 佳男

副支部長 稲垣 良三（総務・綱紀監察）

菱木 淳一（税対）

篠田 格（厚生・事業・研修）

梶田 惇（経理・広報）

幹 事 大野 裕康（総務）

岩橋 一好（総務）

若林 文雄（経理）

栄村 健造（広報）

烏野 利勝（広報）

伊藤 誠康（税対）

辻本 友明（厚生・事業・研修）

山崎 通也（厚生・事業・研修）

監 事 高橋 一夫

早崎 哲雄

退任役員 太田武男（支部長） 梅本俊司（幹事）

野垣幸夫（幹事） 北村俊光（監事）

永い間御苦勞をお掛け致し、感謝申し上げます。

○役員会

H5.4.16 H5.7.21 計2回

○正副支部長会

H5.1.6 H5.1.21 H5.3.18 H5.4.9

H5.5.11 H5.5.21 H5.6.28 計7回

○署支部懇談会

H5.2.4 H5.4.6 H5.7.21 計3回

○相談役との連絡会議

H5.2.17 計1回

○支部長会

H5.4.2 計1回

○平成5年分支部連絡組織表の配布 H5.6.17

○本会各部員推薦

指導連絡部 藤原伸彦先生を推薦

○浪速税務署管内一覧表の配布（H5.6.1現在）

正会員 117名 準会員 11名

○名札（署玄関前）

新調7枚 内海清次、荒木志磨雄、村山吉弘、中谷悦造、長友滋尊、渡邊 修、二間瀬啓蔵

取外し3枚 豊岡正美、小山玲子、桑名治男

○H5.6.22 第29回本会定期総会にて表彰を受けられました。

太田武男先生（第3条第1項第1号該当）

石原博成先生（第3条第1項第2号該当）

伊藤勇夫先生（第3条第1項第2号該当）

◎経理委員会

- H 5. 3. 下旬 平成 5 年度支部予算案作成。
- H 5. 4. 中旬 平成 4 年度支部決算書作成。
- H 5. 4. 14 平成 4 年度支部決算について
監事の監査を受ける。
- H 5. 6. 28 支部懇親旅行について予算の
最終検討を行う。

新年度になり、早速支部会費納入頂き有難う
ございます。なお、未納入の方はお手数ですが、
下記口座へお振込み下さる様お願い致します。

※郵便振替 口座 大阪6-252968

近畿税理士会 浪速支部

※銀行振込 大和銀行桜川支店 普5929122

近畿税理士会 浪速支部 梶田 惇

◎税務援助対策委員会

- 小企業者税務援助対策連絡協議会 H5. 1. 21

- 所得税等地区納税相談所

H5. 2. 16~H5. 3. 11

支部・納税協会共催で地区納税相談所 4 会場
を開設（納税協会・区民センター・新世界会
館・永和信用金庫）

実人員 65人 延べ日数 65日

来所者 350人



- 日本税務協会 平成 5 年度継続記帳指導（個
人青色申告者）

会議 H5. 5. 24 担当者協議会

担当者 下間 茂・田井一則・南 順治
林 圭次

- 商工会議所

担当者 中谷裕之・栗原文雄

- 大阪市税務相談（毎月第 4 水曜日）

担当者 稲垣良三・菱木淳一・林 圭次

中谷裕之

- 浪速納税協会

（今のところ依頼なく人選しておりません）

- 全記帳指導担当税理士連絡協議会 H5. 3. 25

場所 かんぽセンター

指導担当の先生方にはご苦勞をおかけします
がよろしくお願いいたします。

◎厚生・事業委員会

- H 5. 1. 8 懇親囲碁大会を南街会館で開催
参加者 17人

- H 5. 1. 13 新年懇親会をホリディン南海で
開催 参加者 66人

- H 5. 7. 1~3 別府温泉、国東半島方面へ懇
親旅行を行った 参加者 37人

- H 5. 7. 2 別府ゴルフクラブ つるみコース
にて地域対抗競技会選手選考会を
開催

- H 5. 7. 9 金田毅先生 病気見舞

- H 5. 8. 3 夏季懇親会をとり菊で開催
参加者 79人

久しく見直しが行われていなかった慶弔規定
の見直しを行い、慶弔規定を全会員に配布した。

太田前支部長に感謝状贈呈

4 期 8 年間浪速支部長の重責を果たし、
退任された太田前支部長の功績をたたえ、
全会員より感謝の意を表しました。



漆工芸作家
小西 寛 作
輪島塗「赤富士」

支部懇親旅行

「別府旅行回想」

岡 正

二、三日前から大雨にもかかわらず、当日は雨もあがり“かもめ埠頭”から関西汽船さんふらわーに乗り込み出発。船中は比較的揺れも少なく眠れました。

朝、目が覚めて別府港に着くと、浪速支部の懇親旅行は、雨に降られないと言うジンクスも虚しく前日の天気と違って変わっての大雨。早々と朝食を済ませ一路、別府ゴルフ倶楽部へ、「10時過ぎには雨もあがる」と言うどなたかの言葉も通じず、クラブハウスに近づくに連れて、霧がたちこめ風雨ともに強くなって来ました。到着しても、止みそうにない空に、プレイするか？しないか？しばらく様子を見ていましたが戦意を喪失された一部（9名）の先生方を除いて原先生を筆頭にゴルフを楽しみに参加されたゴルフ組の有志は、プレイする事になりました。

一方、観光組は、伊勢神宮につぐ応神天皇ゆかりの宇佐八幡宮へ参拝し、蓮の咲く見事な庭園、八幡文化の秘宝を拝見しました。昼食後、子供たちがよろこびそうなマリンパレス、血の池地獄続いて一定時間をおいて噴出するという

竜巻地獄で、冗談を言いながら時間待、力強い間欠泉を見学しました。観光組は一足先に旅館に到着、本場の温泉につかり羽根をのばしました。ゴルフ組の到着後、間もなく酒宴が始まり席につくと、隣は優勝者の藤原伸彦先生で、先生の話によれば、20～30メートル先も見えない中でのプレーで時間がかかったとの事でした。ちなみに準優勝は辰巳勝朗先生でした。雨の中でプレーされた有志一同、お疲れさまでした。

3日目は、晴れ、国東半島を走り九州最古の木造建築という路の大堂「富貴寺」で「お寺に安置されている仏像と手をあわせてどのようにお題目を唱えるか」というお話を和尚から聞き、たいへん参考になりました。この半島には、六郷満山文化の遺産として「真木大堂」その他塔や、石仏等多くの石造文化財が残されております。その後、腹ごなしに八十段の階段を上り、「鍋山磨崖仏」を拝見しました。昼食にはガイドさんお勧めの山菜料理とダンゴ汁を賞味させてもらいました。大分空港から御土産品を買込み、思い出を後に、無事全員住み慣れた大阪への帰路に着き解散。楽しい旅行でありました。参加された諸先生方、二泊三日の別府の旅、どうもお疲れ様でした。来年はよい天気である事を祈って、また1年仕事に励みたいと思います。最後に、旅行実施に当たり、春田支部長をはじめお世話して下さった担当役員の方々にお礼を申し上げます。



無理霧中のファジー優勝

藤 原 伸 彦

有望選手が多数欠場する幸運と、霧中で20ヤードしか見えない好天と、雨中の重馬場での慌状態と、勿論光パートナーとetc。とにかく私にとっては好条件に恵まれて、念願の支部旅行決戦に勝利できました。有難うございました。

別府ゴルフ倶楽部つるみコースと言えば、南九州の名門ゴルフ場と聞き、楽しみに参加しましたが、早朝よりの強風強雨おまけに濃霧のため、霧中強行コンペと相成りました。

私の霧中ゴルフは、今回ほどキャディーがプレーヤーの唯一の味方であることを思い知ったことはありません。何分視界は真っ白で、方向・距離は何も見えず・わからずのゴルフですから、ひたすらキャディーを信じてとにかく打つ。視界がほぼないのでヘッドアップしない訳ですから、ショットがいいこと・いいこと……。 「あの辺に130ヤードぐらい打って！」というキャディーの甘い言葉に、「あっそー」という私は、ファジーな感覚で夢中にスイングする。グリーンに上がってみると2オンしている。まあなんというか、楽しくもあり、ええかげんなゴルフです。

苦節ゴルフ歴13年にして、私のスイングも完成の域？に近づいてきた感もありますが、好天で景色が見える通常時は、またまたダメモトゴルフになろうかと心配しています。

「ゴルフはスコア、スコアは玉なり。」今後共、チョコレートをこよなく愛していきたいと思っておりますので、諸兄のご協力をお願い申し上げます。



◎浪一会

H 5. 4. 2 堺 C C

優勝 岡本 醇 2位 辻本 昭一 3位 木村 光男
G94 (H30) G91 (H14) G98 (H20)

H 5. 5. 12 法隆寺 C C

優勝 井沢 清仁 2位 木村 光男 3位 二間瀬啓蔵
G104 (H33) G97 (H19) G106 (H27)

H 5. 6. 16 加茂 C C

優勝 原 仁一 2位 小林 剛三 3位 松村昭(準会員)
G82 (H 9) G84 (H 9) G105 (H30)

H 5. 7. 2 別府 C C

優勝 藤原 伸彦 2位 辰己 勝朗 3位 中野 孝治
G93 (H14) G97 (H16) G100 (H18)

◎浪青会

第14回 5月15日大阪ゴルフ
参加者16名(内5名ゲスト)
塚田(1位) G 90 (H15)
柏山(2位) G 92 (H10)
園山(3位) G103 (H19)

◎研修委員会



H 5. 7. 13 於：納税協会 参加者45名

講 師 西口宗宏先生

テーマ 「商法改正に伴う同族会社の増資の実務」

◎広報委員会

第1回 第6号支部報編集会議 H5. 6. 28
かんぽセンター

第2回 第6号支部報編集会議 H5. 7. 27
納税協会

第3回 第6号支部報編集会議 H5. 8. 6
納税協会

新入会員ご紹介

内 海 清 次



事務所 浪速区難波中3-4-40 南大阪ビル 藤原達郎税理士事務所内
TEL 641-2356
FAX 641-3116

昭和34年3月18日生

趣味 ドライブ・草いじり

この職業に携わり早いもので13年の歳月が過ぎ、やっと昨年の12月に念願の税理士試験『合格』という目標を達成することができました。ここまでこれたのは周りの方々の励ましがあったこと、運が良かったこと、必ず合格するという信念を持ち諦めなかったことなどが考えられますが、最終的には自分自身を信じることが一番大事だと思います。

受験し始めてから8年、その間には母親の他界、自身の結婚、長男の誕生、そして今年の9月には第2子の誕生を控えております。

これからは税理士としての自覚を持ち、その名に恥じない知識を身につけ、早く一人前になり、そして浪速支部の先生方のお役に立ちたいと思っております。

村 山 吉 弘



事務所 浪速区日本橋西1丁目4-16 オクハタビル3F
TEL 644-1474
FAX 643-0625
昭和7年5月4日生

趣味 テニス

この6月10日に南支部より浪速支部に事務所を移転しました。

開業して今年は丁度25年になりますが、未だ、浅学のため、資産税の税務相談など受けますと、回答に四苦八苦しております。今後皆様のお仲間に入れて頂きますので、よろしくお願い申し上げます。

荒 木 志 磨 雄



事務所 浪速区元町2丁目9番1-401号
TEL 647-6834
FAX 647-6296
昭和6年10月23日生

趣味 囲碁 初段程度

昨年9月羽曳野市で開業し、この度、縁あって浪速支部に加入させていただきました。

以前は教員をしていましたので、この道には不案内で、ただ今、勉強中といったところですが、なにさま難解で、閉口することがしばしばです。

このような未熟者ですので、皆様の温かい御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

中 谷 悦 造



事務所 浪速区幸町1-3-13-205
TEL 567-0395
FAX 567-1568
昭和34年8月1日生

趣味 スキー・旅行

皆様、初めましてこのたび新しく浪速支部の一員に加えて頂きました中谷悦造と申します。

以前は中央区内本町に事務所を開設しておりましたが、幸せにも従来より浪速支部内において事務所を開設しておられる岡本醇先生とご縁がありまして、この6月3日より合同事務所という形でもって私を迎えて頂きました。

なにぶんにも若輩者でありますので、右も左も分からぬところが多いかと思いますが、岡本先生や浪速支部の各先生方にご指導を賜りながら、一日でも早く皆様方のお仲間に加えて頂きますようよろしくお願い申し上げます、私の浪速支部への入会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

長 友 滋 尊



事務所 浪速区元町 1-11-8

三協ビル 8 F

TEL 636-6526

FAX 636-6527

昭和28年4月28日生

趣味 とりたてて趣味と言えるものは、ありません。

このたび入会させて頂きました長友でございます。

この世界に入って14年、夢中になってやってきましたが、やっと個人の事務所をこの浪速支部に置かせていただくこととなりました。

今、初めて事務所を設立・運営していく上で、人と人とのつながりの輪を、大切にしていきたいと思います。

6月28日に税理士登録をさせていただいたばかりで、右も左も分からず、うろうろしているだけのありさまです。

諸先輩先生方には、今後ご迷惑をおかけすることが多くあると思いますが、何卒よろしくご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

準会員

渡邊 修 西区南堀江 2-3-4-1008

サンハイツ南堀江10階

TEL 543-9685

支部行事予定

H 5. 9. 4 麻雀予選会

H 5. 10. 上旬 ボウリング予選会

H 5. 10. 上旬 研修会

H 5. 10. 中旬 署支部懇談会(正副支部長・理事)

H 5. 11. 中旬 「税を知る週間」ターミナル税務相談

H 5. 12. 中旬 役員会

H 5. 12. 上旬 研修会

H 5. 12. 上旬 署支部懇談会(正副支部長・理事)

既にご案内のとおり、本会の行事予定で支部に関連ある行事は次のとおりです。

(H 5. 7. 末現在)

H 5. 9. 20 ゴルフ

5. 10. 15 将棋

5. 10. 22 麻雀

5. 11. 5 ボウリング

5. 11. 19 囲碁

編 集 後 記

ラジオから行司が発するあの「はっけよい」の掛声の意味がわからず、何となしに聞いておったが、ふとある新聞にその意味が書かれていたので、知らない人にお話することにします。

「八卦(はっけ)よい」即ち占いでよい卦が出ているぞ! まだ努力する余地が残っている、だからがんばれ!」

というわけだそうです。相撲好きの織田信長の頃から、すでにこうした掛声ができていたというから、その歴史は古い。

今日は当たるも八卦、当たらずも八卦! といささか軽んじられているが、それでも昨今の

人間は不透明な時代に、見えない未来をなんとか見通そうとして、とにかく先を占いたがる!!

会員皆様の今後「近税なにわ」へのご支援をお願い致します。

